



大滝 拓也

Otaki Takuya

◎身長 172 cm ◎血液型 B 型

◎誕生日 1995 年 10 月 11 日

Tel : 090-6626-8815

Fax : 023-684-1862

<http://otakitakuya.com/>

◎経過

レースを始めたきっかけ

小さい頃から、車の運転が好きでグランツーリスモというレースゲームに没頭していました。そのゲーム内では NISMO のドライバーとしてルマン 24h などの、実車のレースに出場する事が出来る GT アカデミーという育成プログラムの予選会が行われました。その中での、鈴鹿サーキットのタイムトライアルで世界一位になりました。しかし、その先の実車を使った選考会には日本人は参加できないプログラムだった為そこまでとなりました。しかし GT アカデミーで選抜された、ドライバーがルマン 24h に出場した際、現実のレースで優勝を果たしたのです。そのニュースを目の当たりにし、自分も挑戦しようと決心し、現実のレースに挑戦し始めました。(2009 年 14 歳の時)

◎戦績

2010~2012 レーシングカート

SL カートミーティング SUGO

SL カートミーティング最上川

ダブルチャンピオン獲得

2015 SRS-F(鈴鹿サーキットレーシングスクールフォーミュラ)

日本最高水準のレーシングスクール SRS-F に入校。

当時 SRS-F 校長を務める中嶋悟校長より「元 F1 ドライバー佐藤琢磨選手以来の成長スピードだ。」というコメントと共に、スカラシップを獲得し FIA-F4 への参戦決定。

2016~2018 FIA-F4

デビューイヤーで HONDA 育成ドライバー初の優勝を飾る。現在では F1 で活躍する角田裕毅と何度も優勝争いを繰り広げた。優勝 2 回(鈴鹿サーキット、SUGO)



2016~2018 FIA-F4

2019 PCCJ

箱車の経験を積むため世界最高峰のワンメイクレース。ポルシェカレラカップジャパンに参戦。

シリーズランキング 4 位/30 台中



2019 PCCJ

e-Sports 選手権出場

2019 年に国体の競技種目として初の試みとなったグランツーリスモ部門で、山形県代表選手として国体に出場。

国体出場者の中でも、リアルドライバーが選抜されたという事で、大きな注目を集め、2020 年鹿児島国体でも山形県代表選手に選ばれた。

2020 SuperGT GT300 クラス

FIA-F4 や PCCJ での成績を評価して頂き、SuperGT ルーキーテストのチャンスを獲得。8 月 12 日に合格し、東北人初の GT ドライバーとして大きく新聞やテレビで取り上げられる。デビュー戦ではぶっつけ本番で予選 2 位の結果を残し実力の高さを見せ、デビュー 2 戦目となるツインリンクもてぎでは、3 位表彰台を獲得した。



2020~2021 SUPER GT

2021 FIA-F4 ・ SuperGT ・ インタープロト ・ スーパー耐久 24 時間レース ・ JeGT (e スポーツ公式戦)

今年は、メディアドゥ影山レーシングより、FIA-F4 へ 2 年ぶりに復帰参戦。

他にも GT500 のドライバーが多く参戦するインタープロトレースにプロクラス参戦や、S 耐 24 時間レースにも参戦し 2 位表彰台を獲得。同時に 2020 年同様 SuperGT にも参戦。



2021 FIA-F4

参戦計画

私大滝拓也は、2022年シーズン、国内最高峰レース『スーパーフォーミュラ』への参戦のオファーを頂き、現在活動資金の確保に奔走しております。

現在国内最高峰カテゴリーのスーパーGT 最上位クラス **GT500** への参戦と、国内最高峰のフォーミュラカーレース**スーパーフォーミュラ**への参戦を目指しています。さらに、両カテゴリー上位者に付与される、**F1** への参戦条件スーパーライセンスの獲得後、世界最高峰のF1 への参戦を最終目標にしています。

その為にも、現在、スーパーGT500の直下となるクラス**GT300**と、フォーミュラカーレースの登竜門である**FIA-F4**に参戦しています。フォーミュラカーレースの、次のステップにスーパーフォーミュラ直下のスーパーフォーミュラライセンスへの参戦を目指して、資金集めをしておりましたが、このスーパーフォーミュラライセンスで、**6000万円**もの持参金が必要です。

しかし、今回、そのスーパーフォーミュラライセンスの上、国内最高峰となる**スーパーフォーミュラへの参戦を、持参金5000万円**という金額でオファー頂き、スーパーフォーミュラ参戦の夢を叶える為の、またと無いチャンスを頂きました。

また、もう一つの目標にしているGT500には、ほとんどこのスーパーフォーミュラのドライバーが参戦しており、このスーパーフォーミュラの参戦が叶えば、GT500クラスへの参戦も現実的なものになります。

スーパーフォーミュラでは全ドライバー合同テストでの走行しか許されない為、ぶっつけ本番でのレースになります。

これまでのFIA-F4の参戦などでは、他のドライバーと違い、私は資金面で練習が出来ない厳しい環境下で戦い結果を残してきました。その為、練習なしの本番に強い自信があります。

このまたとないチャンスの、賛同して頂けるスポンサー様を探しております。ご支援の検討を、どうか宜しくお願い致します。

PCCJ
2019年参戦済み



持参金 600万円

GT300
現在参戦中



持参金 500万円

GT500



FIA-F4 マシン
現在参戦中



持参金 1000万円

スーパーフォーミュラライセンス



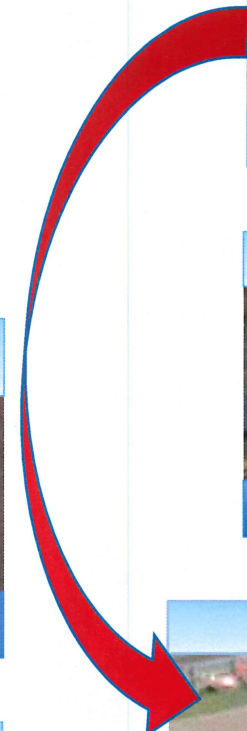
持参金 6000万円

スーパーフォーミュラ



持参金 5000万円

F1



リターン

支援して下さる企業様には、参戦するマシンへのロゴ掲載、レーシングスーツへのロゴ掲載、ヘルメットへのロゴ掲載、オフィシャルHPへのロゴ・リンク掲載、SNSでの企業様の商品やイベントの宣伝、イベントへの出演、テレビ・新聞・ラジオへのメディア露出を積極的に取り組み、企業様の広告宣伝効果を最大限引き出せる様務めさせていただきます。

参戦レースを招待チケットで観戦して楽しんで頂く他に、実際にレーシングマシンに乗る、サーキット走行の機会や、同乗走行の機会を無償で提供いたします。

ロゴ掲載



【振込先】

山形銀行

店番号：116

店名：馬見ヶ崎支店

口座番号：729426 名義：オオタキ タクヤ

【連絡先】

電話番号：090-6626-8815

メール：o.t.speedster@gmail.com

メディア露出



サーキット走行





大滝拓也

> 1995年10月11日

>

[携帯電話]

090-6626-8815

[メール]

o.t.speedster@gmail.com

[LINE]



戦歴

2010年 カートKTクラス

2011年~2012年 カート125MAXクラス

2013年~2014年 資金集めに専念

2015年 SRS-F スカラシップ選考会 スカラシップ獲得

2016年 FIA-F4 フル参戦 Team : SRS/Kochira Racing

2017年 FIA-F4 フル参戦 Team : SRS/Kochira Racing

2018年 FIA-F4 フル参戦 Team : SRS/Kochira Racing

2019年 PCCJ(ポルシェカレラカップジャパン) フル参戦 Team : SKY RACING

2020年 SUPER GT GT300 スポット2戦 Team : RUNUP 東名スポーツ

2020年 SUPER GT GT300 スポット1戦 Team : RUNUP 東名スポーツ

FIA-F4 参戦 Team : Media Do Kageyama Racing

インタープロト プロクラス スポット2戦 Team : 東名スポーツ

スーパー耐久 24時間レース 参戦 Team : トレイシースポーツ

戦績

2011年 125MAXクラス カートソレイユ最上川 シリーズチャンピオン

2012年 125MAXクラス スポーツランドSUGO シリーズチャンピオン

2016年 FIA-F4 鈴鹿サーキット優勝

2017年 FIA-F4 スポーツランドSUGO 優勝 他表彰台3回

2018年 FIA-F4 表彰台3回

2019年 PCCJ 表彰台4回

2020年 SUPER GT GT300 (RUNUP RIVAUX GTR)

第6戦 鈴鹿サーキット

予選 Q1:2位 決勝:17位 (レース前フリー全体2番手タイム)

第7戦 ツインリンクもてぎ

予選 Q2:5位 決勝:3位表彰台 (レース前フリー全体トップタイム)

(レースラップ平均タイム2位)

2021年 SUPER GT GT300 (RUNUP RIVAUX GTR)

第7戦 ツインリンクもてぎ

予選 Q1:12位 決勝13位

スーパー耐久 24時間 3位表彰台

その他

2008年 GTアカデミー 世界一位 (鈴鹿サーキット)

2019年 全国都道府県対抗Eスポーツ国体 グランツーリスモ山形県代表1位

2020年 全国都道府県対抗Eスポーツ国体 グランツーリスモ山形県代表1位

2022 参戦予定レース

・SUPERGT GT300クラス スポット参戦

・FIA-F4 フル参戦

・スーパー耐久 ST-3クラス フル参戦